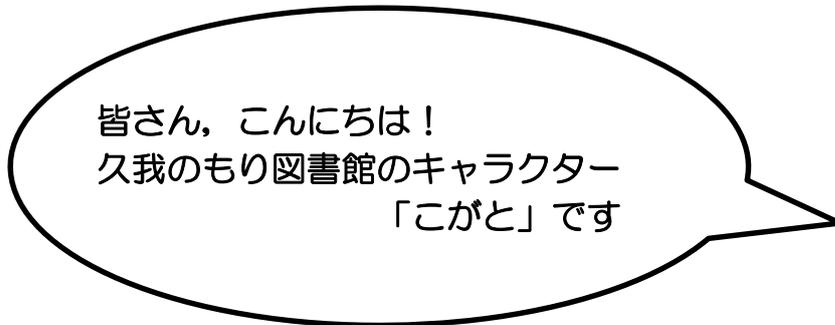
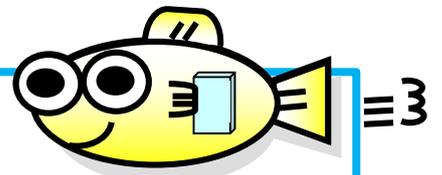


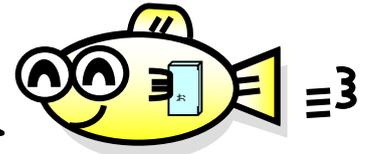
こがと通信 for teens

令和 元年 7月号

発行:久我のもい図書館



皆さん、こんにちは！
久我のもい図書館のキャラクター
「こがと」です



こがと

この号では、大人にも大人気の絵本作家“ヨシタケシンスケ”さんの作品を紹介をしたいと思います。

絵本は小学生が読むものなんて思っていないませんか？
ヨシタケ シンスケさんの絵本に限らず、最近は、おとなの人も
絵本をよく読んでいます。それはなぜか？ 読めばわかるんです。

今回は2冊の絵本を紹介したいと思います。



「それしかないわけじゃないでしょう」 ヨシタケ シンスケ 著 白泉社

ある日、女の子が兄から自分たちの未来は、食べ物がなくなったり、
病気が流行ったり、戦争がおこったり・・・大変になるそうだと
聞かされ不安になりおばあちゃんに相談します。落ち込む女の子に
おばあちゃんは、明るいまみらいはたくさんあるよ と説明し

「それしかないわけじゃないじゃない！」

と元気がでる言葉をかけてくれます。何かに迷った時にぜひ読んで
ほしい一冊です。



「このあと どうしちやおう」 ヨシタケ シンスケ 著 ブロンズ新社

大好きだった“おじいちゃん”を亡くした男の子は、ある日
おじいちゃんの部屋に残されていた、“このあと どうしちやおう”
と表紙に書かれたノートを見つけます。

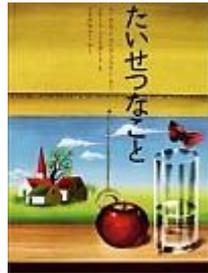
そのノートには、“天国がテーマパークみたいだったらな～”
とか “こんな神様がいてくれたらいいのにな～” などなど

おじいちゃんのユーモアたっぷりの天国の姿が描かれています。
 このノートを読んだあと男の子は、自分も“このあとどうしちやおう”
 ノートを作ろうとしますが、いざ何かを描こうとすると何も思いうかび
 ません。そして気づきます。自分に必要なのは、別のノートだと・・・。
 生と死をテーマに描かれているのに重くない、楽しい絵本です。

そのほかの紹介したい絵本



『大きな木のような人』



『たいせつなこと』



『はいチーズ』



『アンジュール』



久我のもり図書館

京都市伏見区久我東町216 ☎934-2306

休館日：火曜日（火曜日が祝日のときはその翌平日），年末年始
 開館時間：月・木曜日は9時30分～19時 水・金・土・日曜日，祝日は9時30分～17時

